

# みのり通信

第3号

発行 平成23年1月25日  
特定非営利活動法人みのり福祉会  
〒285-0862  
千葉県佐倉市新臼井田8-3  
☎043-462-6424

## ごあいさつ



新しい年が始まります。新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また日頃より当法人の取り組みに対しまして格別のご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

平成23年の干支は、うさぎ。草食哺乳類のうさぎは、しぐさのかわいさや、おとぼけさが皆に愛される動物ですが、声をもたずに天敵から身を守る賢い動物だと聞きます。

今年はこのうさぎのようにみなさんに愛される法人をめざして、失敗の少ない運営を心がけていきたいと考えております。

さて、最近の障害者福祉の動向は、簡単に言えば内閣の「障がい者制度改革推進本部」のもとに「障がい者制度改革推進会議」ならびに「総合福祉部会」を設け、現在の障害者自立支援法に代わる新たな制度の構築に向けた議論が進められております。しかし今年の干支のうさぎのように「ピョン・ピョン」とスムーズにいきません。

新しい制度ができるまでには少なくとも3年の期間が必要とされていることから、障害者自立支援法のかかえる様々な課題の改善につながる

- ①障害者福祉サービスの対象に発達障がいも明確化
- ②利用者負担の応能負担の恒久化
- ③グループホーム・ケアホームの助成制度の創設
- ④相談支援の強化
- ⑤障害種別にかかわらず身近な地域での障害施設の利用
- ⑥放課後等デイサービスの事業の制度化

などが実現されたことは利用する方にとっても、事業を運営する人にとっても一定の前進がみられたことはよかったのではないのでしょうか。

これから先、まだ国の状況はどのように変化するかわかりませんが、今後も「利用してよかった」、「新しい制度いいね」、「運営が少し楽になった」等の声が多く聞かれるようになって欲しいと思います。

みのり福祉会は今年の2月で3年目を迎えます。今年も四街道市にグループホーム(仮称みのりほーむ2)を開設しようと準備を進めております。

まだまだ障がいのある方の応援団として力不足ですが、今後とも引き続き皆様方のご支援をいただければと思います。

理事長 立田 芳弘

新しい一年が始まり、私もとうとう本厄の年齢になってしまいました。

身体も言う事を聞かなくなり、気づくと何故か「ん？肩があがらない…」なんて事もしばしば。調子に乗り身体を動かし、やって来る三日目の筋肉痛。「あれ、何で痛いんだろう？」歳には勝てないと、先輩方から随分と伺いましたが、まさに自分自身で実感中…。

そんな老体初期の身体に、利用者さんたちにムチを打ってもらい、今年もひた走ってきたいと考えております。

1月早々に新たなグループホームも出来上がり、新生活がスタートする予定です。

今年も何かと色々ある事でしようが、一人でも多くの皆さんに喜んでいただける努力が出来ればと考えております。

本年もみのり福祉会をどうぞよろしくお願い致します。

副理事長 川嶋 司朗  
(みのりほーむ担当)



# 職員紹介 &

## < ピース職員 >



かわしま そういち  
川嶋 聡一

「皆さん、お久しぶりです。」  
と言っても「君は誰？」と思われ  
る方もいらっしゃるかも知れま  
せん。

改めまして、ピース管理者の川嶋聡一です。

ピースで「川嶋」と言えば「川嶋司朗」ということで若干私の知  
名度は低いかもしれませんが、昨年4月のデビュー以降もうじき  
1年が経過しようとしています。

既に初々しさは失われ…というか初めから三十路後半のおっ  
ちゃんにそんなものは全くなく、あるのはなげ無しの毛髪のみ。

いまは笑いをとってなんぼ的な明るい雰囲気の中で利用者さん  
と楽しく活動させてもらっています。

支援の話になりますが、去年3名の利用者がピースから社会へ  
旅立っていきました。書類選考を通るだけでもなかなか難しい現  
実につきあたるにつけ「世間は厳しいなあ」と思い知らされます  
が、少ないながらも就労に結びつけたことは私たち支援する者  
の確かな自信となりました。

今年は2年の利用期間満了を迎える利用者さんが順次ピース  
から旅立っていきます。私たち支援者はわずかながらも確かに得  
ることのできた自信を胸に、就労に向け利用者さんと覚悟を持っ  
て向き合っていきたいと思います。

山あり谷ありと思いますが、どうか温かく見守ってください。



たかはし かずや  
高橋 和也

今年がうさぎ年ということで  
「飛躍の年」にしたいと思いま  
す。しかし、飛躍の意味がわから  
ないので早速、飛躍を検索!! (笑)

『飛躍とは大きく発展して活躍する、また急速に進歩・向上  
すること。』か…。

帰国子女の僕には日本語はちょっとムズカシイデス(泣)  
なので去年に引き続き亀のようにコツコツ仕事を頑張りたい  
と思います。

仕事を頑張るといえば小野田寛郎さんを皆さんはご存知  
でしょうか？敗戦後、任務解除の命令が届かずたった一  
人で30年間、残置諜者としてフィリピンのジャングルで戦争  
を続けていた日本人です。

敗戦から29年。すっかり豊かに様変わりした日本に帰国し、  
まるで浦島太郎のような彼に「人生でもっとも大切な時期  
をジャングルで暮らしたことにどう思いますか？」とレポ  
ーターの意地の悪い質問に彼はまっすぐ前を見て答えた。

「若い、勢い盛んなときに大事な仕事を全身でやったことを  
幸福に思います。」

この言葉がなにより胸に響いた。

僕も卵の集卵時に雄鶏に蹴られようと、椎茸の原木にい  
たナメクジに気づかないで運ぶ時に握り潰そうと、今年は大  
きな仕事を全身でやって幸福に思いたいと思います。

あれ？いつもより会報のコメントが真面目になっています  
か？\(\o\o)/?

あとはいろいろな人に顔と名前を覚えてもらうよう頑張  
ることで。

去年、ピースで作業中BGMで流している某ラジオ局の番  
組に1週間出演していたのに誰も気づいてくれず悲しい思  
いをしました。嫁ですら「ラジオでパパと同じ名前だね、高  
橋和也って在り来りだね。…え？パパ？」みたいな事もあ  
り、(泣)僕だってやるときはやりますよ！！

でも…最近、子供が成長しベッド上での居場所がなくなり、  
風呂は1番風呂が少なくなり、一番にトイレに入り大きい方  
をするのを嫌がられ、高橋家の事業仕分けで仕分け人の嫁に  
こう言われます。

「世界一になる理由は何かあるのでしょうか。2位じゃだめ  
でしょうか？」ってね……チャンチャン♪♪



せなみ しんこ  
瀬浪 真子

昨年、子どもの夏休みの宿題で読書感想  
文を書くために、課題図書を読んだ。

4年生の課題なのだが、題名が「やんちゃ子  
ぐま」で、内容を簡単に言うと、ある野生動  
物保護団体が、長野県の山奥にある野生ツキノワグマの巣穴から  
2頭の赤ちゃんを保護し、それを受け入れて育ててくれる動物園  
を募ったところ、長崎県佐世保市にあるいしだけ動物園の園長  
が、必死で生きようとしている2頭の姿が何かを伝えようとしてい  
ると心を動かされ、受け入れることになった。

飼育係は皆、野生のツキノワグマを育てた経験がなく、戸惑い  
ながらも、この小さな生命の灯を消さないように一生懸命に育て  
ていった。

その結果、生まれてすぐの頃300gだった体重が、一年経った頃  
には35kgになった。そしてメスが「美海(みみ)」、オスが「元気(げ  
んき)」と命名されたのである。

野生のツキノワグマは2歳半になる頃にはひとり立ちさせると  
いうことで、それぞれに結婚相手を見つけてやるのだそうだ。そ  
して、いつの日か、新しい命が誕生することが次の夢であるとい  
うお話である。

この本を読んで、親子で感激し、この子ぐまたちに会いに行っ  
てみたいねという話になった。

うちでは何年前からどこか旅行に行くために「人生銀行」  
に500円玉貯金をしているので、それが貯まったら行こうとい  
うことになった。

先日、利用者さんとの会話で、私が500円玉貯金をしているこ  
とを何気なく言ったら、その中の一人が毎日のように500円玉を  
数枚持ってきてくれて両替してくれるようになった。

お蔭でというか、最近になって急激に人生銀行に500円が貯まっ  
ているので、今年は小ぐまに会いに行けるかなと思っている。



なかむら ひでゆき  
仲村 秀行

人と人のかかわりの中で、(地域の人々とも)  
真心を持って接していきたいとおもいます。

# 今年の抱負



たなべ ゆかり  
**田邊 由香里**

明けまして、おめでとうございます。  
メール便のひとり立ちを、一人でも増やすこと  
にがんばりたいです。

毎日の積み重ねで責任もてるようになってきたので、利用者さん  
同士の交流にもなればと思っています。



あいこう なつみ  
**愛甲 夏美**

結婚して気がゆるんだのでしょうか。私の体は地球の重力に逆らえず…たるむ一方。

そこで、2011年は、-4kg！ウォーキング(週3日40分)と腹筋で目指したいと思います。

そして、日々はつらつと笑顔あふれる年にします！！

## < みのりほ一む職員 >



もり まさお  
**森 政雄**

今年は、私の干支。ついに6まわり目を迎えました。

昭和40年代からパソコンに関わった仕事を続けてきた経験が、みのり福祉会の事務処理や、利用者さんのITに関する知識の向上のお役に立てれば幸いです。

今年も、若さを勝ち取るために、頭と体を精いっぱい動かしていきます。どうぞよろしく。



おおしま よしえ  
**大島 芳江**

間もなく2年目。だいぶ皆さんともコミュニケーションが取れるようになりましたが、それぞれ個性があり、これらが本番です。

皆さんと一緒に頑張ります。

## < ひまわり職員 >



すがわら てるよ  
**菅原 輝代**

ひまわりが開所してから9か月あまりたち、初めての新年を迎えました。送迎車を駐車場に置きに行つて「ひまわり」に戻る途中、道路の反対側から大きな声で叫んで手をブンブン振る男の子がいました。月一回の利用を楽しみにしてくれています。うれしくなつてこちらも負けずに手をふってしまいました。

子どもたちの個性は様々です。いきなりぽかんと肩を叩いてくる子、抱きついてくる子、たわいもないおしゃべりやいつもの決まった台詞を投げかけてくる子。大好きなおもちゃやテレビに一目散にいく子。豊かな表情から元気をいただいています。

「いつもありがとうございます。ひまわりに行くのを楽しみにしているんですよ。」と喜んでくださるおかあさん。とてもありがたいです。

ひまわりを利用してくださる方、協力してくださる方への感謝を忘れずに今年もたくさんの笑顔が見られるように、また信頼をしていたけように努力を惜みず頑張りていきたいと思ひます。



たかはし よしあき  
**高橋 良彰**

昨年の11月22日より児童デイサービスひまわりの指導員として働かせて頂いておりますが障害者福祉の世界は全くの未経験の私を励まし、導いて頂いた元気で明るい職員の皆様に囲まれ毎日楽しく仕事をさせて頂くうちにあつという間の年越しとなりました。

明けて平成23年、今年一年の目標と致しましては、まだ入社1ヶ月程度の経験しか積んでおりませんので、何より事業所を運営する為の業務を覚えることがまず第一と考へます。

利用者との接し方についても、日々考へ、学び、そして他の職員との意見交換を通して一人一人の障害と向き合い、より良いサポートが出来る様惜しまぬ努力と工夫を重ねたいと思ひます。また障害に対する理解を深める為の勉強も欠かさず、業務同様日々精進して参りますので益々の御指導御鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。



きみしま かおり  
**君島 かおり**

子ども達とたくさんの経験や体験を通して、子ども達と一緒に成長し、ひまわりに来る事が楽しく思ってもらえる様な事業所を目指して今年一年も笑顔で元気に頑張りていきたいと思ひます。



さやま ゆか  
**佐山 優香**

今年も元気に笑顔いっぱいでお過ごしたいと思ひます。

その中で、去年の自分の反省点や欠けている所をきちんとしていきたいと思ひます。



たかの しゅういち  
**高野 修一**

利用者様方の体力の向上と運動不足解消に努めたい。



この あやこ  
**金野 綾子**

今年も、毎日笑顔で楽しく生活していきたいです。

仕事面では、子どもたちの気持ちを第一に考へ、より良い支援をしていきたいと思ひます。

今年も一生懸命頑張りるので宜しくお願ひ致します。

## グループホーム **みのりほーむ**



千葉グリーンバス臼井線(四街道駅～京成佐倉駅間)の「臼井中学校入口」バス停から歩いて1分のところにひととき明るい黄色の建物があります。

そこが、私たちのグループホーム「みのりほーむ」です。

みのりほーむは、共同生活を通して社会生活を営むために必要な力を身につけることを目的として平成21年4月開設され、現在7人の方が生活されています。

毎朝、それぞれの職場にバス、電車を利用して通勤、夕方戻ってくる規則正しい生活をしています。朝・晩の食事は、まだ世話人が用意していますが、その食事に舌つつみをうちながら、和やかに談笑したり、食後はテレビ鑑賞、スポーツ、趣味にと充実した生活を送っています。

早くアパート暮らしができるようになって欲しいものです。



### イオン幸せの黄色いレシート

レイクピアウスイ(イオン)では毎月11日に地域貢献活動として「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」を行なっています。

私たちみのり福祉会も団体としてそのキャンペーンに登録してありますので、11日にレイクピアウスイでお買い物をした場合は、お手数をおかけいたしますが「黄色いレシート」をみのり福祉会のボックスに入れて頂ければと思います。

(昨年は、バトミントンセット、ゴルフセット等の遊具(総額1,900円)を頂きました。)

遊具は、児童デイサービス「ひまわり」で使わせていただいています。子どもたちは楽しく遊んでいます。

### ありがとうございました

- 財団法人ヤマト福祉財団より平成22年10月29日に大型冷蔵庫を買うための助成を頂きました。これで、卵も野菜も新鮮なままみなさんに提供できるようになりました。ありがとうございました。
- 社会福祉法人テレビ朝日文化事業団より平成22年12月9日に耕運機を買うための助成を頂きました。「畑は土が命といひます」。はやく耕運機の使い方を覚え、おいしい野菜を提供できるようにしたいと考えております。ありがとうございました。
- 四街道市手をつなぐ親の会からグループホーム開設のための準備金として100万円の寄付をいただきました。ありがとうございました。